

令和5年度第1回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和5年7月21日（金）午後2時～午後3時40分

2 開催場所 浦安市立中央図書館2階 視聴覚室

3 出席者

（委員）松本委員長、西村副委員長、井上委員、持永委員、新井委員、堀内委員、
館委員、齊藤委員、日比谷委員、花村委員

（事務局）教育長、教育次長、生涯学習部長、生涯学習部次長、
中央図書館長、中央図書館職員5名

4 傍聴人 なし

5 議題

報告事項

- （1）令和4年度利用統計及び実績について
- （2）令和5年度事業計画について
- （3）令和5年度図書館自己点検評価について
- （4）「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」に係る施策事業の進捗状況について

6 議事の概要

報告事項

- （1）令和4年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。
- （2）令和5年度事業計画について、事務局より報告を行った。
- （3）令和5年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- （4）「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」に係る施策事業の進捗状況について、事務局より報告を行った。

7 会議経過

報告事項

- （1）令和4年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（委員）図書館が専門ではない委員もいらっしゃるので、統計及び実績については解説をお願いしたい。また、表には単位を付してほしい。

（事務局）表の作成にあたって配慮する。

（委員）相対的に評価できる参考数値があるとよい。また、前年比では減少している項目

もあるが、理由はあるか。

(事務局) コロナの影響が考えられる。ただし、来館者数は増加しており、滞在型の利用が増えていると感じている。

(2) 令和5年度事業計画について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(委員) 障がい者向け資料製作の講座が事業計画にないのはなぜか。

(事務局) 障がい者のための資料製作をお願いしている協力者向けの講座は、毎年度開催しており、令和5年度は音訳資料の講座を開催予定。事業計画には一般市民向けの事業を掲載している。

(委員) 障がい者サービスの数値が減っているのはなぜか。リクエストがないためか。

(事務局) コロナの影響もあり利用者からの要望が減少している。積極的な働きかけをしていきたい。

(委員) 障がい者は遠慮している場合が多いので、ハードルを下げる方法を検討してほしい。

(委員) 利用者の情報環境も変化している。読書バリアフリー法も公布・施行されたので、障がい者の読書についても推進していくことになる。

(委員) 読書会とはどのようなものか。

(事務局) 推し本読書会は、子どもたちが自分の好きな本をお互いに紹介しあう形式で、職員はサポート役となる。POP読書会では、子どもたちが薦めたい本の紹介カードを作成し、本とともに書架に飾る予定である。

(委員) ファブスペースについては、改めてご説明いただく機会があるのか。

(事務局) 次回以降の図書館協議会において、徐々に詳細な情報をお伝えできる予定である。

(委員) 3Dプリンタ等のデジタルファブリケーション機器を設置したファブスペースは、海外の図書館では普及している機能である。浦安市のファブスペースにも期待している。

(3) 令和5年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。意見(質問)はなし。

(4) 「浦安市子ども読書活動推進計画(第三次)」に係る施策事業の進捗状況について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(委員) 情報端末の普及等により、子どもたちが調べもので学校の図書室を利用する機会も減少していると感じる。

(委員) (仮称)子ども図書館の事業延期は非常に残念である。実施についてもっと早め

ることはできないのか。

(事務局) 事業の実施については、市全体の計画の中で判断されている。(仮称)子ども図書館については、計画がなくなったわけではない。今後、生涯学習課所管の下で基本設計の見直しを行う予定である。

(委員) 40もの項目があり、また、KPIも測りにくい内容であるため、もっと項目数を絞ってよいのではないか。本好きの子を増やしたいのか、本好きの子にフォーカスするのかによって事業内容も変わって来る。

(事務局) 次回の計画策定の参考とさせていただく。

(委員) 国の読書活動推進計画は、不読率の低下を目的としている。市の計画は必ずしも国の計画に合わせる必要はないが、焦点を絞って、子どもたちの環境に合わせた事業を実施すべきという意見として受け止めてほしい。

(委員) 令和4年度集会事業の読書感想文対策講座など、参加人数が少ない事業がある。目標値に対する結果を分析して、対策を講じる必要があると考える。図書館クラブや図書館サポーターズはおもしろい企画だと思うので、もっとPR方法を工夫するとよい。

(事務局) 読書感想文対策講座は、令和4年度に初めて実施した事業であったため、実施状況を見て令和5年度は夏休み読書相談会という形に変えて実施する予定である。図書館クラブは少人数制で実施しているもので、サポーターズから始めて読書会のファシリテーターになってくれている大学生もいる。

(委員) 浦安市としてかなりのことを実施されていると感じている。小学校ではコロナの影響は非常に大きかった。変わってしまった環境を考慮しての計画推進は大変だと思うが、進めていただきたい。

以上